

5000万人が間違っていることもある

手始めに

とても単純な問題を出そう。 おなたは次の2つの職業のどちらかを選べる。

職業1: 年収1000ドルからスタートして 毎年200ドルずつ昇給する。

職業2: 半年の給料500ドルからスタートして 6カ月ごとに50ドルずつ昇給する。

それ以外の点では 2つの職業はまったく同じ。

どっちのほうが いい求人だろうか(1年目以降)? 注意して考えて、 ページをめくる前にあなたの答を決めてほしい。

あなたは職業1を選んだだろうか? 次のように考えたのだろうか? 職業2では 6カ月ごとに50ドルずつ昇給するのだから、 1年で100ドル給料が上がる。 職業1では 1年での昇給が200ドルなのだから、 職業1のほうがいい。

それは間違いだし 注意しながら 給料の額を書き出してみよう。

		1年の前半	1年の後半	年間
1年目	職業1	\$500	\$500	\$1000
	職業2	\$500	\$550	\$1050
2年目	職業1	\$600	\$600	\$1200
	職業2	\$600	\$650	\$1250
3年目	職業1	\$700	\$700	\$1400
	職業2	\$700	\$750	\$1450
4年目	職業1	\$800	\$800	\$1600
	職業2	\$800	\$850	\$1650

お分かりのように、

- (1)職業1では毎年 給料が前年より200ドル多くなる。
- (2) 職業2では半年ごとに 給料が前の半年より50ドル多くなる。

どっちも最初の契約どおりだけれど、 職業2では毎年、 職業1よりも50ドル多くもらえる。 そして簡単に分かるように、 何年先になっても同じことが成り立つ。

驚いたかもしれない。 でもがっかりしないように。 そういう人はたくさんいるのだから。 この問題を聞いたことのない友達に出してみれば、 きっとあなたと同じ間違いをするだろう。 5000万人が間違うこともあるのだ! それはまったく普通のことだ。 でも、 民主主義は良くない などという結論を出さないように! 5000万人が

必ず間違うのではないのだから!

さっきの問題のように、 急いで結論に飛びつくと 間違えるかもしれない。

だから、 同じ間違いを犯して 民主主義について早まった結論を出さないように。 民主主義については あとでまた触れよう。

とりあえず覚えておいてほしい。 「全員を何度かだますことはできるけれど、 全員を毎回だますことはできない!

あなたもその中の一人だし、 できればだまされたくないから、 正しく考える力を身につけないといけない。 もっと言うと、 自分で何も努力しなくてもそういう力を持てると 勘違いしないように。 きっとこの小さな本が、 あなたの進む道を平らにならしてくれるだろう。

教訓:結論に飛びつくな。